

## 沖縄「慰霊の日」

今日、6月23日は沖縄「慰霊の日」です。米軍が沖縄本土に上陸し、日本軍の組織的抵抗が終わった6月23日を沖縄県は「慰霊の日」と定めています。

先日の「福岡大空襲」に続き、今日も文化委員長が沖縄「慰霊の日」について放送をしました。主な内容は、「国内最大の地上戦があったこと」「非常に多くの方が犠牲になったこと」「現在の政界情勢」等でした。そして最後に以下の言葉で結びました。

**「絶対に戦争はあってはなりません。そのために、自分達ができることはなんだろう。この難しい問いに一人ひとりが向き合い、考え続けていかなければならないと思います。」**

これは、とても難しい問いです。「うーん」と考えこんでしまいそうです。しかし、教室を回っていると、ある教育実習生は、自分の思いをしっかりと語っていました。

**「私たちに何ができるか。それは、『忘れないこと』だと思います。このような戦争があったことを忘れないことが、大事だと思います」**

とても素敵な話でした。「忘れないこと」「語りついでいくこと」が「知ること・学ぶこと」につながり、「平和を維持すること」につながります。

国民一人ひとりの力はちっぽけです。だからといって何もしないままでは平和を維持できません。「何ができるか？」の問いに対する正解は1つではないと思います。各々が心に正解をもったり、正解を見つけ出そうと考えたりすることが大切です。

ところで、今日の昼からは、「沖縄全戦没者追悼式」が開催されました。式の中で平和宣言をされた玉城デニー知事と平和の詩を朗読された高校3年生、平安名秋さんの言葉の一部を紹介します。

### ☆ 平和宣言 玉城デニー沖縄知事

- ・非暴力の信念を貫いたガンジーは「平和への道はない、平和こそが道なのだ」という言葉を残しています。
- ・沖縄県は、全ての人への不当な差別は許されないことを宣言するとともに、人々が互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する、誰一人取り残すことのない優しい社会の実現に全力で取り組んでまいります。
- ・戦争体験者からの未来への教訓を次の世代へ伝えていくことは私たちの使命です。
- ・全ての人々が今、そして未来に幸せと安息を夢描くことができる世の中を共に築いていきましょう。

### ☆ 平和の詩「今、平和は問いかける」平安名 秋 さん

- ・平和は不確かで、もろく崩れやすい。いつもすぐそばにあるのに、いつのまにか消えていく。
- ・平和とは何か？ 私たちにできることはなにか？ それは学ぶことです。
- ・あのと時の傷痕が消えない沖縄の人たちが、平和を希求する心。それが沖縄の『チムグクル（肝心）』です。



沖縄の平和公園内にある「平和の灯」

玉城デニー沖縄知事

平安名 秋さん

二度と戦争のない、平和な世界をつくっていかねばならないと、改めて強く思いました。